活動だより、みんなの活動だより、みんなの活動だ

みんなの活動だより

2015年6月

第33号

はっこう 発行:MISHOP広報部会

「国際交流ウォークラリー2015」に106人参加

「国際交流ウォークラリー 2015」が5月 17日、開催され、106人(うち外国籍 は 45人)が参加しました。 きんかしゃ がいこくせきしみん にほんじんこんごう 18 チームに分かれ で、井の頭公園駅前を出発。 道順のヒントが書かれた地図を頼りに、クイズを解き、ごみを拾いながら、井の頭公園 や三鷹の森ジブリ美術館、山本有三記念館、太宰治文学サロンなどを巡って、MISHOP まで約2時間かけて歩きました。

実行委員会が設定した 120 分という隠しタイムとの差、クイズの正解率、拾ったご みの分量を点数化した結果、韓国出身の男女3人と日本人男女3人のチーム「Park」が最高点を獲得し、優勝しました。リーダーの井川なつみさんは「うれしいです。勝因はチームワーク」とチームメートと喜びを分かち合っていました。

ではかい きょうりんだいがく りっきょうじょがくいんたんだい がくせいやく にん 今回は杏林大学や立教女学院短大など学生約40人のほか、スタッフ44人がボランティアとして参加。受け付けやコース途中のパトロール、表彰式のプレゼンターなど、活躍しました。



ボランティアリーダーの高橋 哲也さんは「これだけ大勢の方に参加していただいてうれしいです。けがや事故もなく素晴らしいた大会になりました」と話していました。

106 people enjoyed the International Walk Rally 2015

The Walk Rally was held on Sunday, May 17th. 45 foreigners were among the 106 participants that enjoyed this annual event. The members were divided into 18 groups and started the walk at Inokashira Park. Each group headed to MISHOP through various points such as the Ghibli Museum, Yuzo Yamamoto Memorial Museum, and Dazai Osamu Literary Salon, answering several questions that were provided at the start. It was a fun two-hour walk.

40 volunteer attendees, including students from Kyorin University and St. Margaret's Junior College and etc., supported this event, patrolling the route and helping out in various ways. The volunteer leader for this event, Mr.Tetsuya Takahashi, was very happy to see that so many people joined the rally and reached the goal safely.



ALLuijlo 編集室 Message from the Editors

気温 28 度、真夏のような日差しの下、ウォークラリーが開催されました。例年に比べて中高年が減って、若者の参加が自立ちました。各チームともこの日初対のの6人で組んでいるとは思えぬほど、和気あいあいと楽しそうにゴールしてくる姿が印象的でした。

The weather turned out to be a nice sunny day on the day of the Walk Rally. This year we noticed a larger amount of younger participants. Six people in each group met each other for the first time. It was nice to see that they became friends with each other quickly and enjoyed the day.

シナリオライター、エドさんの「映画のお話」

4月21日のイングリッシュラウンジでは、映画シナリオライターのエド・リンキーさん(米国出身)が、ユーモアたっぷりに、映画の構成や魅力について話しました。エドさんは、人生のうちで、受け入れ難い困難が襲って来た時、世界を変えるか自分を変えるのがヒーローだと強調。このため、映画の題材は身近にあふれていると話しました。

シナリオライターとしては、映画は8つの構成でできていると説明。場面や登場人物の紹介から、襲って来る困難へのチャレンジ、そしてクライマックスでヒーローが 状況をチェンジするのが、基本的なパターンだと、わかりやすく説明しました。

エドさんは、質疑応答に意欲的で、特に日本映画について問われると、桜の花びらがゆったりと散るような美意識を感じると強強。ハリウッドとの違いは、日本映画は、特主人公を含めて、犠牲になる人が変いことを挙げるなど、興味深いおいるときませんでした。



On April 21st at the English Lounge

On April 21st in the English Lounge, screenwriter Ed Rinkiewicz, spoke about movies, detailing the finer points of story structure.



"A real hero is one that changes the world or himself when faced with unacceptable difficulties in life, which is same as in a movie." said Rinkiewicz. "I think there are a lot of ideas for movies around you."

As a screenwriter, Rinkiewicz explained that a movie is composed of eight elements. There is a basic pattern of a movie's story, starting with introducing a situation and the characters, then the hero fights through difficulties, and finally changes the situation at the climax.

福島新地町に生きる〈震災からその後の暮らし〉

~アリソン・クワイセル写真展~

現在、LLJで日本語を勉強している国際基督教大学大学院生のアリソン・クワイセルさん(アメリカ出身)が、福島県の浜通りの最北端にある新地町で撮影したで品を展示する写真展が開催されます。

被災地全体は灰色にみえるかもしれませんが、そこに生きる人々の精神力は生き 生きとした色彩に彩られています。アリソンさんは生きる力と勇気を新地町の皆 さんからもらったと話しています。(入場無料)

アリソン・クワイセル写真展 福島新地町に生きる〈震災からその後の暮らし〉

かいき がつ 30 日 (火) ~ 7月5日 (日) 11~18時

かいじょう と は なん なん まれとりじんじゃ さき 会 場 : ギャラリーコスモス (目黒駅から徒歩 10 分、大鳥神社の先)

ゅくろくしもめぐろ 目黒区下目黒 3-1-22 谷本ビル 2 F(Tel:03-3494-8621)

Photo exhibition "Shinchimachi Fukushima: Life after Disaster".

One of our members, Ms.Allison Kwesell, who is studying Japanese at LLJ, will have a photo exhibition at Meguro from June 30th to July 5th. She visited Shinchimachi in Fukushima prefecture and felt the power and courage of the people there. She describes the experience as the scenery looks monotone but the spirit of the people is lively and colorful. If you have a chance to go to Meguro, please stop by. (Admission free)



Allison Kwesell Photo Exhibition

2015.6.30 tue ~ 7.5 sun